

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	経済部商工労働観光課	直通電話	72-3166	事業コード	503030104	課内	5	作成日	平成15年8月14日	
	担当者		荒川清一		担当課長		加藤秀樹		担当部長	工藤厚志

1 事業のアウトライン

1) 事業名	優良事業所等表彰事業	開始年度	H10	終了年度	未定						
		最近の事業内容見直し年度									
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>5020401</td> <td>商業の活性化 / 商店経営の近代化と魅力化</td> </tr> <tr> <td>5030301</td> <td>工業の振興 / 地域産業の育成</td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	5020401	商業の活性化 / 商店経営の近代化と魅力化	5030301	工業の振興 / 地域産業の育成
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目										
5020401	商業の活性化 / 商店経営の近代化と魅力化										
5030301	工業の振興 / 地域産業の育成										
3) 個別計画での位置付け	なし										

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	市内の商工業の振興を奨励する。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	信頼のおける商品やサービスの提供と安全で快適な職場環境の整備等を促し、併せて従業員の資質と勤労意欲の向上を図る。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	<p>優良事業所表彰～市内で同一事業を20年以上継続して行い、経営状況が健全で業界の発展に大きく貢献している。また、従業員の福利厚生事業を積極的に実施し、更に業種毎に定める要件を具備する事業所を表彰する。</p> <p>優良従業員表彰～市内の事業所に勤務し、人格識見に優れ、同一事業に20年以上の実務経験があり、業務を通じて事業の発展に貢献し、今後も従業員の模範となり、後進の指導に著しい功績を収めている。更に業種毎に定める要件を具備する従業員を表彰する。</p> <p>推薦された対象者を表彰審査会(委員7名)で審査し、市長が被表彰者を決定し、表彰する。表彰式は毎年11月に実施している。(平成14年度は11月8日 りんくる 2階 交流活動室)</p>
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	<p>国～春・秋の叙勲及び褒章(商工企業関係・労働関係)</p> <p>北海道～北海道産業貢献賞(商工鉱業功労者、卓越した技能者)</p> <p>石狩商工会議所～勤続表彰及び功績表彰</p>
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	特になし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	197	170	198	223	表彰式開催経費(報償費、消耗品費、役務費)	170
2) その他の間接経費(千円)					茶話会開催経費(食料費、消耗品費)	9
3) 従事正職員の人件費(千円)	1,233	1,658	1,565		記念、記録用写真代(印刷製本費)	19
総事業費(1～3の合計;千円)	1,430	1,828	1,763		H14 主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)	1,430	1,828	1,763			
市民一人当たり一般財源使用額(円)	26	33	32			
事務に従事した正職員のべ人数	0.15人	0.20人	0.19人			

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
推薦依頼団体数(団体)	目標値	20	20	22	23	推薦依頼した市内の経済団体の数
	実績値	20	20	22		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
広報・新聞等への掲載数(回)	目標値	2	2	4	5	表彰制度、受賞者を周知するための広報・新聞等の掲載回数
	実績値	2	2	4		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	目標値					
	実績値					
	達成率					

5 事業の成果

事業名：優良事業所等表彰事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
受賞者数(社、人)	目標値	15	15	15	15	目標値は予算枠(15人)で設定	優良事業所及び従業員表彰式のしおり、広報
	実績値	15	15	15	目標レベル		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	推薦依頼団体・広報等により、周知することで目標を達成している。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	受賞者のその後の意欲増進を図られているとの認識から、今後の更なる貢献を期待するものである。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	市内に所在する全ての商工業の事業所及びそこに勤務する者を対象とすることから、市が関与するのは当然であり、妥当である。また、費用効果の面から考えても適当な事業である。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	推薦は広報、経済団体等に推薦を依頼し、選考については、審査会に委ねることで不公平が生じないよう配慮している。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
	市内の商工業の振興を奨励する事業として適正であると認識している。		課長評価を了承する。	

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	受賞者のその後の経過状況の把握も必要である。
最終評価	優良な商工業の事業所及び従業員の表彰は更なる職場環境の整備や勤労意欲の向上に資するものと思料する。

9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
上についての説明	休・廃止		